

特集

## 誕生した生命に、居場所としての椅子を 世界に一つだけの椅子を届け 15年「君の椅子」プロジェクト

シリーズ「北海道の木と文化」④ … 藻岩レルヒ会〔札幌市〕

——レルヒが教えた一本杖スキーを伝承しスキー文化の普及に貢献

ほっかいどうの本 … 『医聖 華岡青洲の偉業 画期的治療と診療録絵巻』 …………… 華岡青洲文献保存会  
『森のつくりてになりたくて 北海道中川町 ある木工作家の暮らしから』 …… クナウマガジン  
『日本の歩みを強く危惧する 93歳の原爆体験者からの訴え』 …………… 寿郎社

「生まれてくれてありがとう」「君の居場所はここにあるからね」。子ども誕生を地域社会で祝う証として、旭川家具職人の手による世界に一つだけの椅子を贈る――。「君の椅子」プロジェクトは2006年、東川町で始まり、ことしで15年目を迎えます。その後、この取り組みに賛同する自治体や個人の輪が拡がり、自分だけの椅子を手にした子どもたちは3500人を超えました。磯田憲一代表に、プロジェクトに寄せる思いについてうかがいました。

(取材日 11月28日、12月6日)



いそだ けんいち  
磯田 憲一さん

「君の椅子」プロジェクト代表

1945年旭川市生まれ。1967年に明治大学法学部を卒業後、北海道庁に入庁、上川支庁長、総合企画部長など歴任。2001年に副知事に就任、同年発生したBSE（牛海綿状脳症、いわゆる狂牛病）問題では、対策本部長として国内初となる全頭検査実施と二次検査の結果公表に踏み切った。2003年副知事退任後は、旭川大学客員教授、公益財団法人北海道文化財団理事長などを務める。

## 特集

# 誕生した生命に、居場所としての椅子を 世界に一つだけの椅子を届け15年 「君の椅子」プロジェクト

思い出の  
記憶装置になる椅子

「君の椅子」プロジェクトの構想は、2003年に北海道庁を退職した磯田さんが、2004年から旭川大学大学院の客員教授として受け持った地域政策専攻のゼミで生まれました。社会へ出る前の学生には「自分たちの発想を生かした提案が地域社会に受け入れられ、形になるという体験をしてほしい」と考え、話し合いながら、子どもが生まれるという喜びを分かち合える仕組みを

地域に提案する、というプロジェクトの方向性を固めました。

取り組みを具体化するに当たっては、旭川地域が持つ潜在力を生かしたものにしようと、家具職人の技術と道産材を使った椅子作りを提案。優れたデザイナーと職人の力を掛け合わせ、子ども用の椅子を作るという提案をまとめ上げました。年ごとにデザインを変え、座面の裏には名前と生年月日、プロジェクトロゴや一連番号が刻印された「世界に一つだけの椅子」。2006年の中村好文さん（建築

家）に始まり、2019年はスウェーデンのステューレ・エング

さん（デザイナー）ら国内外の著名人が描いたデザインを、道産の無垢材を使い、確かな技術を持つ旭川家具職人の手で形にしていくのが「君の椅子」です。

小さくても立派な旭川家具。磯田さんは「小さな椅子は子どもの成長に伴って6、7年で座るという機能は失うだろうが、思い出を刻み込み、一生捨てられない椅子となっていくに違いない。生涯にわたる思い出の記憶装置としての役割を果たし

てくれることを願っている」と語ります。

自分が誕生したことを喜んでくれた、肯定してくれた、「おめでとう」と言われた証になる椅子。「いじめに遭うなど人生の壁に突き当たり、生まれたこと、生きていることを嘆く瞬間もあるでしょう。でもそんな時、傍らの椅子を見て、生きる勇気を再び湧きたたせてくれることになれば……」。磯田さんのそんな願いが込められています。

## 職人が作る祝福の象徴

木製家具の産地・旭川地域。旭川市の南東に隣接する東神楽町にある(株)匠芸は、1979年の創業以来、「脚物」と呼ばれる椅子やテーブルを主に作っています。木の香る工房内で45人ほどの職人が、黙々と家具のパーツ作りや組み立てに励んでいました。手作業にこだわりを持つ同社では、職人の9割が家具製作技能士などの有資格者です。

2019年製「君の椅子」の大半を同社が手掛けました。毎年デザインが変わる「君の椅子」は、毎回試



若い職人も多い匠芸の工房内



組み立てる直前の「君の椅子」のパーツ



ショールームの一角に設けられた「希望の「君の椅子」」コーナー

作を重ねながら、強度など構造上に問題はないか、材料となる木に無駄は出ないか—など確認していくそうです。「大きさは違っても、同じ手間をかけて作っています」と企画開発課長の業天昭人さん。小さな椅子の部品一つ一つに旭川家具職人の誇りと技術が詰まっています。

東日本大震災当日の2011年3月11日に生まれた、岩手、宮城、福島の子供もたちへ贈った、希望の「君の椅子」も、同社製です。発生から10年を迎える今も、社屋2階に設けたショールームの一番目立つ所に、5年後に届いた「いす

おつくつてくれてありがとう。」(原文ママ)と書かれたメッセージカードと一緒に、小さな椅子が展示されています。

東日本大震災が起きた年の春、磯田さんは「あの日、新しい命を授かった家族は、1年後の3月11日どのように迎えることになるのか」と思い至りました。震災で亡くなった人のことは日々報じられていますが、生まれた人数は誰にも分かりませんでした。当時、プロジェクトに参加していた東川、剣淵、愛別の3町と協力して、被災3県の128市町村で何人の新しい命が誕生した

かを調べ始めました。混乱する被災地からの連絡を待ちながら、5カ月かけて104人の子どもたちの誕生を確認し、このうち名前を把握できた98人に「希望の「君の椅子」」を届けました。

「亡くなられた方への鎮魂と同時に、生まれた命への祝福も大切にしなければ」と3町長らと被災地を巡った磯田さん。宮城県塩竈市で、わが子の名前と共に「たくましく未来へ」と刻印された椅子を受け取ったお母さんは「この子は一度もおめでと」と言ってもらえなかつた子だけど、今日初めて『おめでと』と言ってもらえたような気がする」と涙を流されたそうです。

## おとぎ話のような風景をつくる

東川町で、最初に「君の椅子」を贈られた2006年生まれの子どもたちの一部は、ことし中学3年生になります。町の子どもたちがみんな自分の椅子を持っているという、以前に磯田さんが童話作家から言われた「おとぎ話のような町」が実現しようとしています。「お金をかければ全員に椅子を一斉にプレゼントすることはできますが、汚れや傷まで

は贈ることはできません。それは時間をかけて作り上げた一つの風景です（磯田さん）。

磯田さんが、岡山県倉敷市や京都市など、ものづくりの長い歴史や伝統を持つ都市で講演した時にも、「たかだか十数年の歴史しかない椅子の話ですが、そこに込めた思いや仕組みを話すと、みんなが耳を傾け、共感してくれます」と言い、「北海道のように歴史がないといわれる所でも、本物を目指す努力を続けることで、世界から認められ、地域の誇りになっていくはずです」と信念を語ります。

## ハッピーボーンと君の椅子のまち

——小さなまち役場に出生届を出しに来たお父さん、お母さんが、役場を出る時に小脇に小さな椅子を抱えている。それを見たまちの人たちが「あっ！赤ちゃん生まれたんだね、おめでどう」と声を掛け合う——。「君の椅子」プロジェクトはそんなイメージから始まりました。2010年にプロジェクトに参加した愛別町は、それ以前から「君の椅子」のヒントになる取り組みを行ってきた町でもあります。



愛別町の作田さん宅（右が長男、左が次男）

1990年4月から町内で子どもが誕生すると、花火が上がるようになりました。「ハッピーボーン」と呼ぶ活動です。

インターネット回線を使い行政情報を伝えるIP告知放送システムがないころです。新聞にも載らない新たな町民の誕生を知らせ、共に喜び合うために、花火を上げました。有志で結成した「祝っちゃう会」が、会員のポケットマネーで5回爆発音が発する「五段雷」を購入し、子どもが生まれた家の近くで正午に打ち上げます。その数は2019年までで約600発に上ります。

このほかにも花屋さんからは花束



冷蔵庫を開ける時にも使います

ジュースを手に笑顔です

が、食料品店からはお米が届けられません。「こうした活動に町の補助はありません。自主的にプレゼントしているんです」と、役場の総務企画課政策企画係長の石川友教さんは説明します。

石川さんの案内で、小学生の3人きょうだいがいる作田さんの家を訪ねました。6年生の長女と3年生の長男、1年生の次男が、一緒に帰ってきました。「君の椅子」に座ってもらうと、長男にはもう窮屈なよう。「でも、毎日使っているんですよ。」とお母さんは言います。

小学校には給食がないので、子どもたちはお弁当を持参します。学校



自分の弁当箱を洗う子どもたち

から帰ったら弁当箱を洗うのが彼らの日課。流し台に立つ時に「君の椅子」はちょうどいい踏み台です。

少々汚れや傷も目立ち始めた椅子ですが、「二度と買い替えることができない特別な椅子。邪魔にもならない大きさなので、ずっと取っておけます」とお母さん。2007年生まれた長女には「君の椅子」はありませんが、「赤ちゃんはしばらく座れないので、最初に椅子を使っていたのは、お姉ちゃんでしたね」と懐かしそうにほほえみます。

## 思いを託せる椅子を作り続ける

2009年、プロジェクト参加自治体以外の個人向けに「君の椅子倶楽部」が発足しました。参加費用を負担すると、椅子が届けられるシス



札幌市中央区にある「君の椅子工房学舎」で歴代の椅子が展示されている（大通西5丁目の大五ビルディング2階）

テムです。受け付けから、椅子の検品や発送、年1回の会報の制作など、ほとんどをボランティアスタッフが行っています。

ネット通販なら翌日には商品が届く時代に、在庫を持たない「君の椅子」は、届くまでに約3カ月かかります。新しい命が産声を上げ、名前が決まってから作り始め、作り手は皆、座る子どもを想像し完成させていきます。効率性や生産性を

優先する消費社会の対極にある仕組みを頑なに守り続けています。

椅子が出来上がると、名前や生年月日に間違いがないかをチェックし、参加してくれた方と、受け取る子どもへの手紙を同封します。完成を知らせ、送り先を確認するため、贈り主に電話を掛けるのは磯田さんの担当です。電話口ではお互いに「ありがとう」と繰り返します。磯田さんはプロジェクトに共感して

くれたことへの感謝、参加した方は作ってくれたことへの感謝を伝えるためです。「お客様は神様」という大量消費をベースにした社会にはない、お互いに感謝し合える関係性こそが、本当の豊かな社会ではないでしょうか」と磯田さんは言います。

東京にある百貨店のバイヤーから「わが社で扱わせてもらえませんか」という熱心な誘いもありました。磯田さんは「それでは商品になってしまおう」と断りました。

後の2014年、日本マーケティング協会が選ぶ日本マーケティング大賞地

域賞を「君の椅子」プロジェクトが受賞しました。「もしデパートの話を受けていたら、年間数千脚もの椅子が売れたかもしれない。従来のマーケティング理論ならそれが正しい選択かもしれません、その代わり受賞はなかったでしょう」と磯田さんは振り返ります。

15年目を迎える「君の椅子」ですが、目標とする方向や数値を特段持っていないわけではありません。いつか出会うであろう家族のために「家族の思いを託せるに足る椅子を淡々と揺るぎなく作り続け、ゆっくりこつこつと子どもたちの元へ送り届けていくことが唯一無二の目標です」と磯田さんは言い切ります。

### 地域の力を取り戻す

「隣近所の力で支え合いながら生活するという『向こう三軒両隣』による地域の力が失われ、最も弱い存在で、助けがなければ生きていけない子どもたちが犠牲になる事件が後を絶ちません。子どもたちの健やかな成長こそが、社会を支える基点であると考え、新しい生命を迎える喜びを分かち合う地域社会をもう一度取り戻したい。数十年かかるかもしれないし、もう手遅れかもしれない

が、今やらなければならない」（磯田さん）

さまざまな思いが詰まった「君の椅子」プロジェクトは、2006年に東川町から始まり、2007年に剣淵町、2010年に愛別町、2012年に東神楽町、2014年に中川町へと広がりました。2015年には道外初の長野県売木村が参加。2018年には7番目の自治体として福島県葛尾村が参加しました。

葛尾村は、東日本大震災に伴う福島第一原発の事故で全村避難となりました。昨年12月の時点でも帰村率は25%ほどにとどまっています。多くのものを失った葛尾村ですが、困難な復興に取り組む中、折るような思いで、今は村に住んでいない家庭にも椅子を贈っています。

また新たに、2018年9月6日の北海道胆振東部地震で甚大な被害を受けた厚真町が、8番目の自治体としてプロジェクトに参加します。かけがえのない日常や町民を失うという過酷な体験をした自治体が、誕生した命に未来への希望を託そうとしています。

「愛されれば、その子は人を愛する人になる、社会に愛されれば、その子は社会を支える大切な大人になる」。そう磯田さんは考えています。

## 北海道の 木と文化 ④



### 藻岩レルヒ会〔札幌市〕

レルヒが教えた  
一本杖スキーを伝承し  
スキー文化の普及に貢献

日本で初めて本格的なスキー技術を指導したのは、オーストリアの武官だったテオドール・エドラー・フォン・レルヒです。1910年に来日したレルヒが持ち込んだスキー術が一本杖スキー。札幌では「藻岩レルヒ会」が、その技術を保存し、後世に伝えようと活動しています。

日本の地形風土に適した  
一本杖スキー



一本杖スキーを披露する藻岩レルヒ会のメンバー（同会提供）

一本杖スキーの特徴は、下端に石突きと呼ばれる金具を付けた長さ2倍前後の杖（ストック）を一本しか持たないことです。現在のスキーのようにス



札幌オリンピックミュージアムには昔のスキー板が多数展示されている

トックを2本持つ、二本杖スキー術も当時からありましたが、レルヒは、急峻な斜面を安全に滑ることができ一本杖が日本に適していると判断したようです。

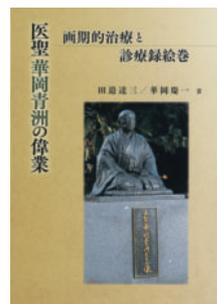
交換将校として来日したレルヒ少佐は最初、新潟県上越市高田にある大日本帝國陸軍の第13師団歩兵第58連隊に赴任し、1911年1月から青年将校や中学校の体育教師らに一本杖のスキー術を授けました。同年9月に中佐に昇進したレルヒは、翌1912年2月北海道を訪れます。レルヒは、旭川で第7師団に所属し、1912年3月まで各連隊の将校に、一本杖スキーの滑降法などを指導。受講した生徒のうち、札幌月寒第25歩兵連隊の三瓶勝美中尉ら3人が、札幌に戻る「レルヒ直伝」講習会を開きました。軍人のほか、大学生なども参加し、同年3月31日、三瓶中尉らは藻岩山でスキー登山をしたそうです。

## ほっかいどうの本

（お近くの書店にない場合は発行先へお問い合わせください）  
（特記以外は税込価格です）

### 医聖 華岡青洲の偉業

画期的治療と診療録絵巻  
田邊 達三／華岡 慶一 著  
華岡青洲文献保存会 発行  
011・281・6631  
B5判 132頁 頒価5000円



第II部では青洲が診療した症例が描かれている絵巻『彩色奇患之図』を現代医学の観点を交えて解説しています。この絵巻は19世紀の日本の医療を描写し、専門分化が進んでいない時代に青洲が幅広く診療を行ってきた事実を証明した資料でもあります。

著者の一人である華岡慶一氏は第九代随賢として、札幌市豊平区にある華岡青洲記念病院の理事長をされており、青洲の志は代々受け継がれています。（高）

### 華岡青洲（第三代随賢）は江戸

時代の名医であり、文化元年（1804年）に歴史上証明できただけで初めて全身麻酔手術を成功させた人物として知られています。本書では全身麻酔以外にも青洲が学び取り入れてきた医療や、どのような医学理念を持って患者と向き合ってきたかが語られています。

第I部では鎖国状態にあった時代のなかで、青洲をはじめとした外科医たちがいかに医療を学んだか、青洲は消毒法や止血法などどのような手法を用いたかなど、外科的起死回生の術を医学史の資料を加えたくて考察しています。



森のつくりてになりたくて  
北海道中川町ある木工作家の暮らしから  
高橋 綾子 著  
クナウマガジン 発行  
0155・38・4188  
A5判 116頁 1320円

著者である木工作家の高橋綾子さんは、自身が聞き取ってきた木の実情や、ものづくりを通して感



子どもたちにスキーの楽しさを伝える役目も果たしている（藻岩レルヒ会提供）

「札幌藻岩山スキー場まつり」で、明治期の軍服や袴などを模した姿で一本杖スキーを披露してい

国産のスキー板は最初、陸軍の兵器・弾薬・器具・材料などを製造・修理した砲兵工廠<sup>ほうへいこう</sup>で作りました。材木には堅くて粘りのあるサクラやイタヤカエデなどを使った単板で、長さは180〜230<sup>センチ</sup>程度。杖は本場オーストリアではカシを使いましたが、日本では竹製でした。

**札幌のスキー文化に寄与する藻岩レルヒ会**

かつてレルヒが藻岩山でスキーを教えたという言い伝えがあり、藻岩山の冬季イベントとして「レルヒ祭り」が企画されました。祭りで一本杖スキー術を披露しようと、スキー学校の指導員ら6人によって「レルヒ会」が1986年に発足しました。しかし後に、レルヒは藻岩山を訪れていないことが判明。1992年に会の目的を「レルヒ中佐の教えを北海道で初めて学び、スキー技術を藻岩山で伝授されたのを記念し、そのスキー技術を伝承すること」と定め、会名を「藻岩レルヒ会」に改めました。

ます。大倉山ジャンプ競技場に併設する札幌オリンピックミュージアム内のシアターでも同会メンバーが一本杖で滑降する一コマが上映されています。

同会では、スキー未経験の子どもでも着脱しやすく、坂も昇りやすい「簡単スキー」の開発・普及に取り組んでいるほか、冬はスキー、夏はノルディックウォーキングの講習なども行っています。

同会会長の原田廣記さんは、藻岩山にあったスキーリフトが日本初だったと、突き止めたこともあります。2010年ごろから原田さんが土木学会誌などの文献を調べ直し、進駐軍が1946年8月に長野県の志賀高原と藻岩山に専用のスキー場とリフト建設を指示し、藻岩山のほうが、志賀高原よりも1カ月早く、同年12月に完成したことを証明しました。

リフトを造った時期は、終戦からまもなく鉄不足だったため、支柱は木製の檜で、その材木は中山峠付近から切り出したそうです。



レルヒがいた頃の軍服を模した衣装を着た原田会長

**札幌市藻岩山**  
札幌市のほぼ中央に位置し、標高は531メートル。昔々の探検家、松浦武四郎は「後方羊蹄日誌」の中で、藻岩山は、アイヌにとって物見をする山であると同時に、尊い神の山だった」と書き残しています。

じた思いについて、広くお話しする方法として本書を出版されました。

仙台から町のほとんどが森林におおわれている北海道中川町へと移住してきた経緯、これまで出会ってお世話になった方々や仲間のこと、製品の作り方を教えてもらった師匠との出会いなどのエピソードに、カッティングボード、サラダボウル、ボールペンをはじめとする作品たちや製造工程の写真も多く掲載されています。

製作に使用するのは、伐採する際に出る本来であれば山に残され人知れず朽ちていく運命の木材。この未利用材をなぜ原材料として使用しているのか。「森の木と人の生活 その間を 繋ぐもの」を作っていくという著者の熱い思いが込められた本書からは、木の温もりが伝わってきます。（大）

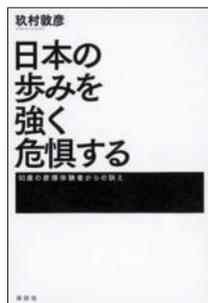
**日本の歩みを強く危惧する**  
93歳の原爆体験者からの訴え  
玖村 敦彦 著  
寿郎社 発行  
011-708-8565  
四六判 156頁 1650円

を想起し、何故あのようなことになったのか思索した結果、明治以降の国の歩みから解きほぐす他はない、と思うようになりました。本書では、到達したことを文章化され、講演会でお話ししたこと、新聞・雑誌に投稿したものがまとめられています。

原爆の凄惨さを語ることでできる人が少なくなってきた中、原爆が如何なるものなのか、どれだけの人の体と心と将来に甚大な被害を及ぼしたのかを、被災者の視線で強く痛感することができます。

世界の平和を願う著者は、戦後の日本が近隣諸国に対し法的責任しか取っていないこと、道義的責任を取ってこそ近隣諸国と心からの和解が得られ、それにより今の日本が歩む戦前の状況と似た道を変えられるのだと言います。

あとがきに書かれた、「本書をお読みくださった方々、後をどうぞよろしく願います。」の一文からは、これからの生きる日本人の重みと責任、未来を変えられる希望を感じます。（伊）



# 新刊情報

書名の下に数字は日本図書コード（ISBN）及び雑誌コード。特記以外は税込価格。お近くの書店にない場合は発行先へお問い合わせください。

## 横路孝弘 民主リベラルの旗の下で

798-4-89453-967-0  
 横路 孝弘 著／北海道新聞社 編  
 四六判 200頁 1760円

泣いて笑って、生きていく  
 こころのこぼれ  
 798-4-89453-960-0  
 けん三（下田 憲） 著  
 四六判 188頁 1650円

## 拓銀 敗戦の記録 破綻20年後の証言

798-4-89453-961-7  
 北海道新聞社 編  
 四六判 268頁 1760円

南の島に夢を描いて  
 落選町長のポランテア奮闘記  
 798-4-89453-962-4  
 川口 孝太郎 著  
 四六判 224頁 1540円

## 続・北海道おいしそばの店

798-4-89453-965-5  
 梅村 敦子 著  
 A5判 136頁 1650円

ファイターズ2019  
 オフィシャルグラフィックス  
 798-4-89453-963-1  
 北海道新聞社 編  
 A4判 144頁 1200円

ありがとう田中賢介！  
 引退記念公式写真集  
 798-4-89453-964-8  
 北海道新聞社 編  
 B5判 112頁 1320円

モーリー54号  
 地域をつくる道しるべフットパスの歩き方  
 798-4-89453-966-2  
 北海道新聞野生生物基金 編  
 A4判 72頁 990円

写真で学ぶキャスティング  
 目指せ150メートル  
 798-4-89453-968-6  
 小西 勝美 著／  
 週刊釣り新聞ほっかいどう 編  
 A5判 160頁 1650円

## 北海道コンサドーレ札幌ニュースファイル 2019

798-4-89453-967-9  
 北海道新聞社 編著  
 A4判 128頁 1430円

## 道新プラス道新受験情報 2020高校入試志望校決定特集

16147-11  
 北海道新聞社 編  
 B5判 242頁 880円  
 北海道新聞社  
 011・210・5744

## 丸山真男と戦後民主主義

798-4-8329-8862-2  
 清水 靖久 著  
 A5判 338頁 3190円  
 北海道大学出版会  
 011・747・2308

## 遙かなる希望の島

798-4-906740-40-6 C0096  
 「試される大地」へのラブレター  
 磯田 憲一 著  
 四六判 184頁 1760円  
 亜瑠西社  
 011・221・5399

## 北海道命名150年記念

798-4-89115-370-0  
 ほっかいどう百年物語 下巻  
 北海道の歴史を刻んだ人々  
 STVラジオ 編  
 四六判 357頁 1320円

## 後継者が育つ、よき経営者の役割

798-4-89115-371-7  
 吉川 孝 著  
 四六判 146頁 1320円  
 中西出版  
 011・785・0737

## スマート農業の現場実装と未来の姿

798-4-86453-068-2  
 野口 伸 監修  
 B5変型判 212頁 3981円

## 北海道の農業 令和元年版

798-4-86453-066-8  
 A4判 60頁 1320円

## 北海道農協年鑑 令和2年版

798-4-86453-069-9  
 B5判 584頁 11524円  
 北海道協同組合通信社  
 011・231・5299

## 新版 北海道の山と谷

798-4-8328-1908-5  
 大雪・十勝連峰・夕張山地・増毛山地・道北  
 山と谷作成会議 著  
 A5判 411頁 2970円

## 趣味の民謡人生

798-4-8328-1909-2  
 辻 義彦 著  
 四六判 234頁 1760円

## 山の履歴簿 第3巻

798-4-8328-1910-8  
 大雪山・北海道北東部  
 渡辺 隆 編  
 A5判 482頁 4950円

## 人の偉大さを求めて

798-4-8328-1911-5  
 リンカンデユガ・ニシサト 著  
 西里 静彦 翻訳  
 A5変型判 107頁 1320円  
 北海道出版企画センター  
 011・737・1755

## 難行苦行の（絵描き遍路）をやってみた

798-4-909281-16-6  
 四国八十八カ所を歩いて描く  
 イマイカツミ 著  
 四六判 248頁 1870円  
 寿郎社  
 011・708・8599

## どうして みんな 死にたいの？

798-4-87739-331-1  
 如月 陽子 著  
 四六判 240頁 1320円

## 妻恋

798-4-87739-333-5  
 愛の人から、人生の同志へ  
 泉 脩 著  
 四六判 216頁 1650円

## 自分らしく生き、そして逝く

798-4-87739-334-2  
 仲 紘嗣 著  
 A5判 170頁 1100円

## ふる里秋田の風景

798-4-87739-332-8  
 高橋晋平写真集  
 高橋 晋平 著  
 B5判 80頁 3300円

## 爪匂@天空物語り

798-4-87739-335-9  
 青木 曲直 著  
 100×74mm 232頁 5000円  
 共同文化社  
 011・251・8078

## ともだち

798-4-990937-9-7  
 法邑 美智子 著  
 200×176mm 52頁 1200円  
 茶廊法邑出版  
 011・785・3607

## 紙のば 表のこ

798-4-87739-336-4  
 厳寒の彩り  
 山本 修一 版  
 木版画 40センチ×55センチ  
 「知床半島は海別岳から突端の知床岳まで、何れも1000mを超える山容が連なる秘境で、ほぼ中央に位置する羅臼岳は、連山の主峰として季節を問わず絵になる絶景。厳冬期、裾野に広がるハイマツの樹水が太陽に映える様相を木版画で表現した。」  
 全道美術協会（全道展）会友 札幌市在住